

ほっとかへんネット須磨 防災体験学習会報告

報告書作成日 2025 年 10 月 22 日

報告者 KOBE 須磨きらくえん小林大洋

開催日 2025 年 10 月 14 日（火）13 時 30 分～15 時 15 分

場所 神戸市消防局市民防災総合センター

参加者 参加施設総数 13 施設 参加者 23 名

体験内容

①VR 装置による災害疑似体験



②地震体験車「ゆれるん」



③冠水歩行訓練

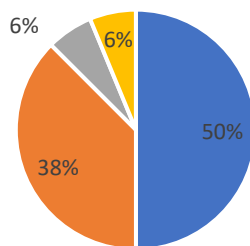


④消火訓練（消火器使用訓練）

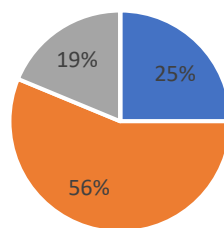


振り返りアンケートより

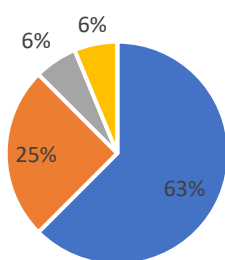
地震体験車ゆれるん



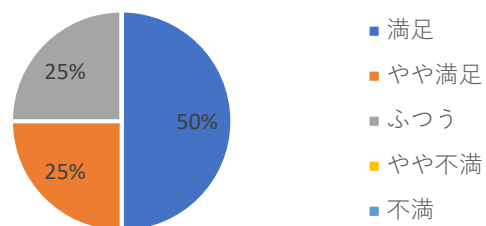
V R 災害疑似体験



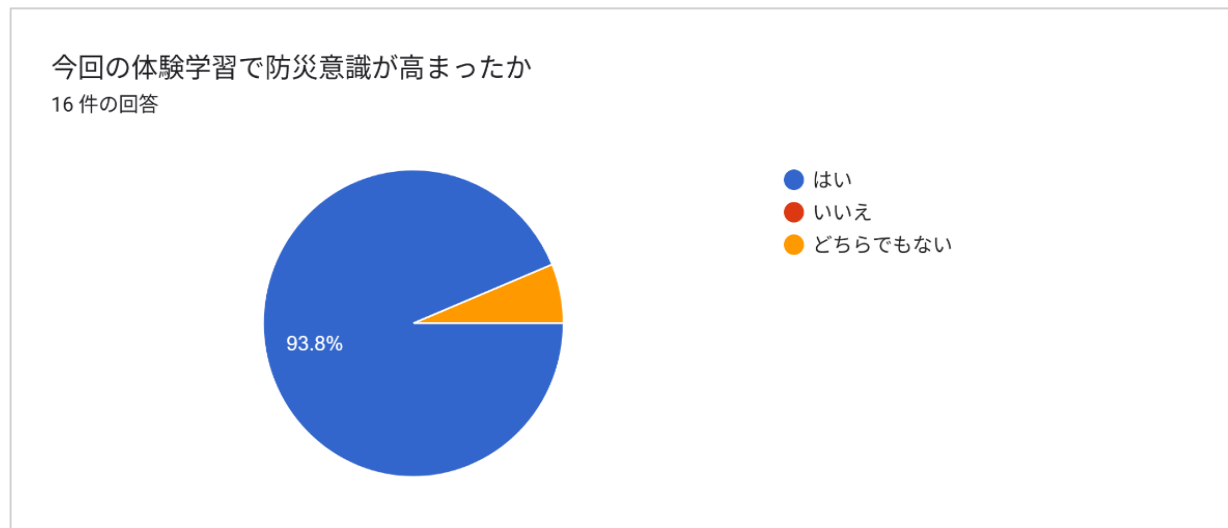
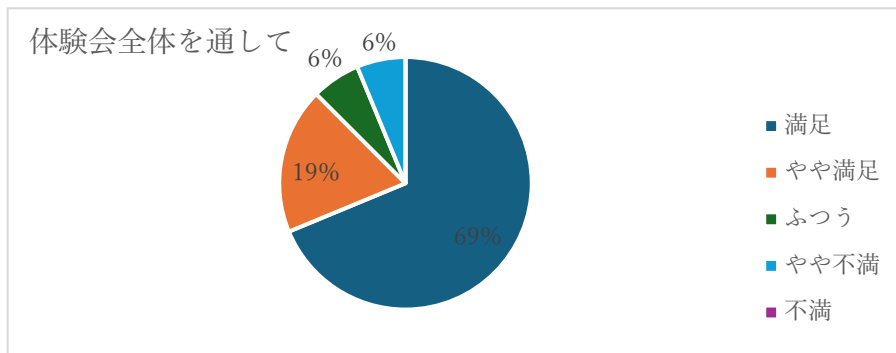
冠水歩行訓練



消火器体験

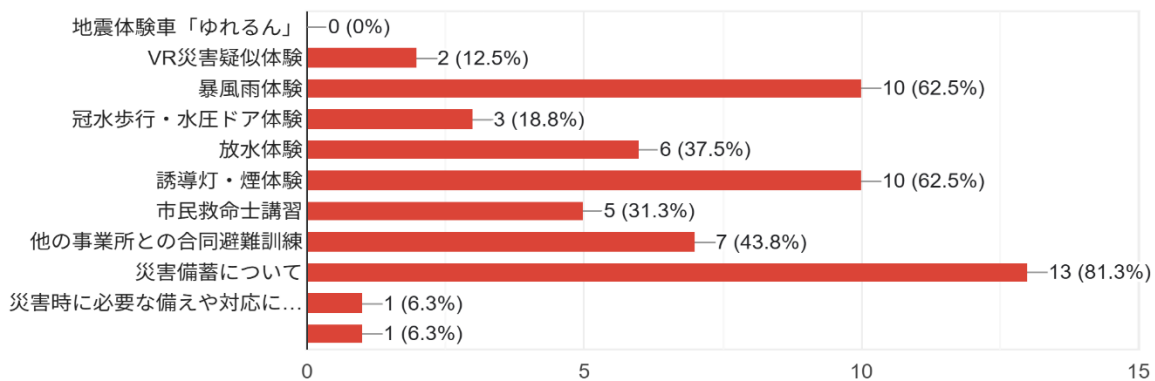


■ 満足
■ やや満足
■ ふつう
■ やや不満
■ 不満



今後どのような体験や研修に参りたいですか

16件の回答



感想（一部抜粋）

- ・初めての取組みであったが、体験をするという事は災害対策対応においては必要だと感じた。机上だけでは得られないものがありました。
- ・今後もほっとかへんネットの仲間として、一緒に学んだり、体験したりできる機会が増え、日頃の連携にもつながればと思います。
- ・自施設でゆれるんなど体験したことはあるが、実際に研修センターに出向いて受講することに意義があると感じた。機会があれば、施設職員にも冠水体験など経験して欲しいと感じた。

- ・実際の土砂災害現場に出動したが「長靴で駆けつけても足を取られ近づけず、マイクで2階へ避難を呼びかけるしかなかった」という消防士の生々しい経験談を伺い、災害の厳しさを実感しました。冠水歩行では、歩かないのが最善とのことでしたが、もし歩く場合には、長靴よりも靴のほうが安全であるといったことも貴重な情報でした。近年は YouTube などを通じて防災の知識を学ぶこともできますが、実際に体を動かして体験することや、現場を知る消防士の声を直接聞くことには、比べものにならない説得力があると感じました。「やるんなら楽しみながらやりましょう」という消防士の言葉どおり、防災を身近に感じ、繰り返し体験しながら備えていくことの大切さを改めて実感しました。緊急時、災害時、可能な限り一人に対応せずチームで対応するよう心がけることが、互いの安心や適切な判断へつながるといってお言葉も大変貴重な学びでした。自身の部署での対応の基本として改めてチームに発信したいと思います。
- ・盛りだくさんの体験学習会で大変勉強になりました。特に消防士の方の生の声が聞けて、何よりも先に助けを呼ぶことが大事であり、地域とのつながりが普段から大切であると改めて感じました。緊急事態に直面した時にこそ的確に判断し、冷静に初動体制をとり、誘導することが求められていると思いました。
- ・これをきっかけに何か連携できることがあればいいですね
- ・体験学習会を通して、災害の恐ろしさを身をもって知ることができ、非常に有意義な時間となりました。
- ・今回の体験は、災害時の状況を他者に伝える際にも役立つと感じています。言葉だけでは伝わりにくい恐怖や困難を、自らの体験談として詳細に語ることで、職場の人々に防災意識を高めるきっかけとしたいと思います。
- ・神戸市に「市民防災総合センター」という市民が体験学習できる施設があることを知りました。今後も防災意識を継続していくため、機会があれば活用したいと思います。
- ・日頃、施設で出来ない体験が出来て良かった。単独では出来ないことです。良かったのは、最後に隊員から話が聞けた事や大声を出すことは、昔は出来ていたなぁと反省すべきところがあった点を気付く事が出来て良かったです。

総評

学習会参加者のアンケート結果から、体験学習の重要性、チーム連携の重要性を参加者が実感し、防災意識と実践的な知識の向上に大きく貢献した、非常に有意義な取り組みであったと評価できる。特に、机上では得られない体験と、消防士の生の声が、今後の自施設での防災への意識、取り組みへの強い動機付けとなったことがうかがえます。

区内の他施設と合同で実施することで横のつながり、連携への意識も持つことができたことと評価できる。参加事業所数が多いとは言えなかったが、関心の高さはうかがい知ることができた。今回の学習会をきっかけに、学びと横のつながりを構築するきっかけとなるような企画を研修チームと検討をしていきたい。

